

悪性リンパ腫患者における免疫応答に関する後方視的解析に関する情報公開

1. 研究の対象

2006年1月1日～2014年12月31日に藤田保健衛生大学病院または江南厚生病院にて生検を受け、悪性リンパ腫と診断され化学療法をうけられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

<研究の目的>

悪性リンパ腫は血液の悪性腫瘍の中で最も高頻度に生じる疾患で、近年の高齢化とともに増加を続けています。悪性リンパ腫については、従来化学療法（抗がん剤治療）、放射線療法、造血幹細胞移植などによる治療が行われ、一定の成果を挙げていますが、これらの治療が有効でない方も少なくありません。近年ではこれらに加えて免疫療法という新たな治療法が一部のがんについては確立されつつありますが、悪性リンパ腫において免疫療法が有効であるか、またどのような患者さんにとって有効であるのかについてはまだはつきりとわかっていない。本研究では免疫療法に関連する細胞やたんぱく質が悪性リンパ腫においてどのように働いているかを明らかにし、治療や治療効果の予測に役立てるために行います。

<研究の方法>

患者さんから診断のために手術や生検で採取して藤田保健衛生大学病院または江南厚生病院の病理診断部に保存してある病理検体を使わせていただいて、それらの特徴（特に免疫関連分子の発現の程度）について様々な方法で調べ、その患者さんの治療効果との関係を照らし合わせ、どのような免疫学的特徴が治療成績に影響するかを調べます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、治療歴と治療の結果、血液検査や画像検査の結果 等

試料：病理検体

4. 外部への試料・情報の提供

個人情報については藤田保健衛生大学、江南厚生病院において対応表を作り、匿名化した上で名古屋大学に提供されます。情報、試料及び対応表の受け渡しは、研究者による手渡しまたは厳重に梱包し重要情報を郵送する方法として適切な方法で行います。提供を受けた情報、資料については名古屋大学において研究責任者及び分担者が厳重に保管します。対応表は、藤田保健衛生大学、江南厚生病院の共同研究者（各施設の責任者）が厳重に保管します。

5. 研究組織

研究責任者

名古屋大学大学院医学系研究科附属医学教育研究支援センター特任研究部門
(大学院医学系研究科 分子細胞免疫学分野) 特任教授 赤塚美樹

研究分担者

名古屋大学大学院医学系研究科 分子細胞免疫・教授・西川博嘉
名古屋大学大学院医学系研究科 分子細胞免疫学・講師・伊藤佐知子
名古屋大学大学院医学系研究科附属医学教育研究支援センター
(大学院医学系研究科 分子細胞免疫学) 特任研究部門・特任助教・杉山大介
名古屋大学大学院医学系研究科 臓器病態診断学・教授・中村栄男
名古屋大学医学部附属病院 病理部・助教・高野桂
名古屋大学医学部附属病院 病理部・河野槨
名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学・助教・石川裕一
名古屋大学医学部附属病院 血液内科・講師・島田和之

共同研究者

藤田保健衛生大学 血液内科学 臨床教授 岡本昌隆
江南厚生病院 血液・腫瘍内科 第1診療部長 河野彰夫

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの
代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお
申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先 :

共同研究代表責任者

〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学大学院医学系研究科 分子細胞免疫学
特任教授 赤塚 美樹 (研究責任者および研究代表者)
Tel:052-744-2135 Fax:052-744-2180

共同研究各施設の責任者

・藤田保健衛生大学

血液内科学 臨床教授 岡本昌隆
Tel:0562-93-9243 Fax:0562-95-0016

・江南厚生病院
血液・腫瘍内科 第1診療部長 河野彰夫
Tel:0587-51-3333 Fax:0587-51-3300